

津和野路をあゆ香魚を求めて夏の日に

走る車に川風は来る

令和六年八月七日

大中臣正比呂



高津川が蛇行し津和野川と交わるところににらほら日原がある。みかどや美加登家と云う
鮎料理屋に向かう前に村の春日神社の坂を上った。涼しい高台から見下
ろす高津川は、いかにも川魚が獲れそうな風情である。鮎尽し中、一番
のお薦めは、骨を意識せず頭から食べられる塩焼きだ。真に美味である。